

事務事業名		中赤崎地区道路新設・改良事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業				
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目				
	施策名	良好な生活空間の創造				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	生活道路の整備				01	08	02	03	49
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 平成24年度～令和2年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	都市整備部建設課				A 政策事業		B 施設整備		
	課長名	金野 尚一				C 施設管理		D 補助金等		
	係名	課長補佐	電話	0192-27-3111	E 一般(A～D以外)					
	担当者	村上 浩人	内線	309						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
津波により壊滅的な被害を受けた赤崎町中赤崎地区において、防災集団移転促進事業の高台移転先住宅団地の開発にあたり、進入路を整備するものである。新設区間は幅員4.0m(歩行者専用)、6.0m及び9.0m、改良区間は既存道路(幅員2.5m程度)を6.0m及び既存の三陸鉄道ガード(幅員3.0m)を6.0mに拡幅改良する計画である。				総投入量(千円)						
【計画期間】 測量調査設計(1式) 平成25年度、平成27年度 用地買収(6,210㎡) 平成27年度～平成29年度(発注時から年度を跨ぐ工事) 工事 令和元年度～令和2年度(発注時から年度を跨ぐ工事)工事委託協定を三鉄と締結。 事業費は、委託費、土地購入費、補償金、工事費、事務費として支払われる。				国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 1,107,684 一般財源 276,921 事業費計(A) 1,384,605 正規職員従事人数 13 延べ業務時間 2,760 人件費計(B) 11,040 トータルコスト(A)+(B) 1,395,645						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
工事施工(L=370m)		ア	整備延長
			m
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
工事施工(L=360m) 三陸鉄道ガード部 年度を跨いで継続		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市道生方大洞線、市道大洞2号線、新設道路		名称	
		単位	
		カ	計画総延長
			m
		キ	主たる利用者
			人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
利便性が向上するとともに、安全に通行できる。		名称	
		単位	
		サ	供用開始新設道路延長
			m
		シ	整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)
			%
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ス	
安全で快適に移動できる。			

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	年度						
		27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)	
投入量	事業費							
	財源内訳	千円						
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	千円	36,208	51,385	154,027	28,000	28,000	212,000	
	千円	9,052	13,096	38,771	7,000	7,000	53,000	
	千円	45,260	64,481	192,798	35,000	35,000	265,000	
	人	2	3	2	2	2	2	
	時間	460	460	460	460	460	460	
	千円	1,840	1,840	1,840	1,840	1,840	1,840	
	千円	47,100	66,321	194,638	36,840	36,840	266,840	
⑤ 活動指標	ア	m	690	690	690	40	40	40
	イ							
	ウ							
⑥ 対象指標	カ	m	870	870	870	870	870	870
	キ	人	300	300	300	300	300	300
	ク							
⑦ 成果指標	サ	m	140	140	830	830	830	830
	シ	%	16%	16%	95%	95%	95%	95%
	ス							

事務事業ID	1572	事務事業名	中赤崎地区道路新設・改良事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	津波により壊滅的な被害を受けた赤崎町中赤崎地区において、防災集団移転促進事業の高台移転先住宅団地の開発にあたり、進入路を整備を目的として復興交付金申請を行い、平成24年度から事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	地域の理解が進み、協力的になった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	地域から、早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 道路を新設・改良することにより、安全・快適に利用できるので、都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ この事業により、利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 十分な幅員で舗装された道路計画となっていることから、これ以上の成果向上余地は認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 安全で快適に利用できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限の費用で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 令和3年度に事業完了予定	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	令和2年度からの繰越明許により今年度事業完了予定である。事業効果の発現に向けて早期に完了しなければならない。